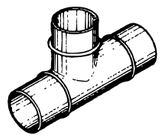
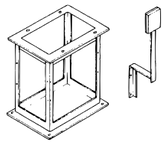
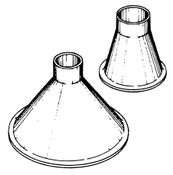
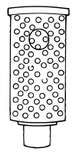
お問合せについて

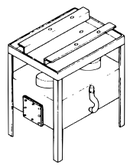
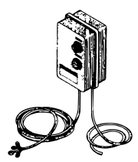
●お問合せの際は、ミストピュア本体の銘板のMfg No.（製造No.）、Model（型式）をお知らせください。
●ミストピュアの部品の購入・オーバーホール・修理のご依頼はお買上げの工具店へお申し出ください。

お取り扱い・お手入れ方法・部品の購入などのご相談・お問合せ先

TEL.06-6328-5820　FAX.06-6328-5951

追加オプション

伸縮塩ビダクトホース ダクトホースバンド	風量調整ダンパー	MTチーズ （2方向・3方向）	架台	メガホンフード （大・小）
				
ホース用継管	MYチーズ （2方向・3方向）	スーパーマイクロンBOX	シロッコファン 抜き工具	シロッコファン
				

NC用アダプター	研削盤用架台	電気工事用オプション
		

発売元　サンワーカー株式会社
本　社　〒533-0004　大阪市東淀川区小松4−10−30
TEL 06(6328)5820　FAX 06(6328)5951

製造元　株式会社サンエツ
本　社　〒533-0004 大阪市東淀川区小松4−10−30
TEL 06(6328)5270　FAX 06(6328)5951

JQA-QMA12698

2009.7

www.sanetsugroup.co.jp

サンワーカー

ミストピュア

取扱説明書

このたびは「ミストピュア」をお買上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、機能を十分に活かして正しくご使用ください。
お読みになった後は大切に保存し、わからないことや不具合が生じたときにお役立てください。

ミストピュアは…

ミストや、ミストに含まれる粉塵という汚物を吸引しているため、
常に現状より稼働時間が経過するに従って、
運転状況が悪くなるものとして保守管理をお考えください。

保守管理の中でも…

フィルターの交換はぜひ行っていただかないとトラブルの原因となります。
お買い上げいただきましたミストピュアを末永くご使用いただくために、
この取扱説明書を参考書として常にお使いください。

集塵機ではありません。また、ミストピュアは送風機でもありません。
ミストの吸引方法を考案いただき保守管理がより少なくなる様な使用方法を採用下さい。

目　次

	安全上のご注意	1
1.	各部の名称	2
2.	トラブルの防止について	3–4
3.	『ミストピュア取扱不可事項』について	5–6
4.	設置にあたっての注意事項	7
5.	電気工事について	8
6.	ご使用方法	9
7.	フィルターについて	10
8.	フィルターの交換	11
9.	シロッコファン、ドラムAssy、モーターの交換	12–14

ミストピュアはISO9001取得工場の製品です。

⚠ 安全上のご注意

警告

●ご使用の前に取扱説明書を必ずお読みください。
●回転中に前蓋を開けないでください。怪我をします。
●モーター冷却ファンカバーから物を入れないでください。怪我をします。
●水のかかるところでは使用しないでください。感電します（屋外仕様であれば可）。

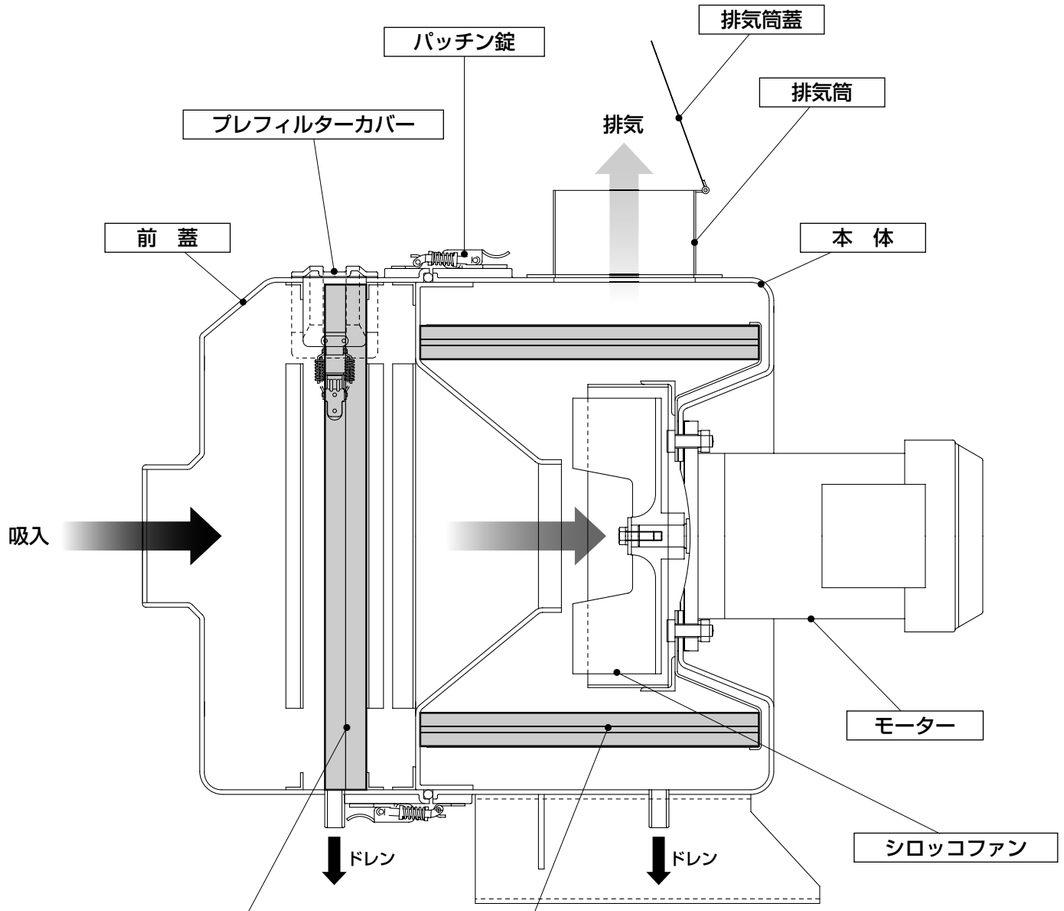
⚠警 告　ミストピュアの点検時、保守管理時には次の事を厳守してください。

1. 電源を、切ってください。電源を切らないと、感電、人身事故の恐れがあります。
2. 回転が完全に停止してからにしてください。回転したままですと、回転に巻き込まれて大怪我をする恐れがあります。
3. モーターや、ミストピュアが充分冷却してからにしてください。火傷をする恐れがあります。
4. 回転中に前蓋を開けないでください。シロッコファンに吸い込まれた物が跳ね飛ばされて大怪我をする恐れがあります。
5. 手袋をしてください。切り傷や、火傷をする恐れがあります。
6. モーター冷却ファンカバーから物を入れないでください。回転するファンに巻き込まれて、大怪我をします。
7. モーター冷却ファンカバーをはずして、稼働しないでください。回転するファンや、軸に巻き込まれて、人命にかかわる事故となる恐れがあります。
8. モーターのみをテスト稼働させる場合には、完全にモーターを固定してください。始動時の衝撃で、モーターが激しく動き大怪我をする恐れがあります。
9. モーターのみを稼働させるときには、モーター軸のキーを取り去ってください。キーが跳ね飛んで、大怪我をする恐れがあります。
10. ミストピュアを強制的に止めるため、靴や、手袋をはめた手でシロッコファンを触らないでください。巻き込まれて大怪我をする恐れがあります。
11. ミストピュアの電源には、『点検中』、『工事中』の明示が出来るようにしてください。点検中に誤って電源を入れられて、大怪我をする恐れがあります。
12. 前蓋を開けたまま稼働しないでください。物が跳ね飛んで大怪我をする恐れがあります。
13. 始動時には、手を触れていないか、安全を確認してからしてください。ミストピュアは1秒間に60回転する高速回転体です。人命にかかわる事故の恐れがあります。
14. 明るい所に設置してください。暗いところでは、メンテナンス時に怪我をする恐れがあります。
15. メンテナンスできるスペースを設けてください。狭い所では、怪我をすることがあります。
16. モーターは使用環境に適合した等級のものを発注してください。火災や爆発の恐れがあります。

⚠注 意

1. 40℃以下で使ってください。モーター焼損、火災の危険があります。
2. 使用電圧、周波数を確認してください。間違っていると、モーター焼損、火災の恐れがあります。
3. 振動、騒音が大きくなった場合にはすぐに停止してください。モーター焼損、火災、回転不能の恐れがあります。
4. ミストの吸引の方法を考慮してください。異物量が多いとすぐに振動や、騒音を発生しモーター故障等による回転不能となる恐れがあります。
5. フィルターは適正な期間で交換してください。フィルターを交換しないと、吸引力低下の原因となります。
6. 水がかかる場所には設置しないでください。漏電したり、故障したりします（屋外仕様であれば可）。
7. 排気口から白煙が出るときは、スーパーマイクロンBOXを使ってください。白煙で健康を害します。
8. 臭い、ガス状のものはとれません。臭い、ガス状のものをとる機器を併設してください。
9. 吸入口から手を入れないでください。前蓋のネットが破れていると怪我をします。
10. モーターターミナルBOXのアースを完全に接続してください。感電する恐れがあります。
11. モーターターミナルBOXに蓋をせず放置しないでください。感電事故の恐れがあります。
12. モーターリード線の結線部分は絶縁テープで完全に絶縁してください。漏電の恐れがあります。
13. モーターをロックしたままで稼働しないでください。モーター焼損となります。
14. フィルターをはずして運転しないでください。オーバーロードでモーター焼損となります。

1. 各部の名称



プレフィルター　メインフィルター

フィルター交換については

P10.　フィルターについて
P11.　フィルターの交換　）をご覧下さい。

2. トラブルの防止について

ミストピュアのご使用にあたっては、吸引させる条件、吸引させる環境条件、吸引させるミストの性質等々に加えて、ミストピュアの設置時の電気工事の内容、ミストピュアの保守管理の状況、ミストピュアの適正な機種の使用等の事柄が、複雑に絡み合っております。
そのために、この取扱説明書の各項目をご参照の上トラブル防止に努めていただきたくお願い申し上げます。

これらのことから

イ.放置すれば自然落下するものまで吸引してフィルターを目詰させることは止めて下さい。
　吸引力低下を誘発させます。
ロ.飛散するものに吸引力だけで対応すると、飛沫まで吸引し目詰を発生させるので、飛散を止める（またはミストの向きを変える）障壁（カバー）を作ってください。大きな吸引力による強引な吸引は、吸引力低下を誘発させます。
ハ.小さな吸引容量のミストピュアでミストを強引に吸引させないでください。
　ミスト発生源にミスト吸引口を近かづけないと吸引効果がなく、放置すれば自然落下するものまで吸引して吸引力低下を誘発させます。
ニ.発生する微小ミストだけを吸引し大粒径（10ミクロン以上）のミストは、吸引させないでください。
　吸引力低下を誘発させます。
ホ.『ミストピュア取扱不可事項』での使用は止めてください。錆びによる故障、モーター損傷を発生させます。
ヘ.モーター保護の電装品を二つ以上装着。
　モーター焼損事故を発生させないために装着してください。モーター故障のためにミストピュアの吸引が停止し、他の事故を誘発させる恐れもあります。
ト.常温で固まるもののミストは吸引させないでください。吸引力低下、モーター損傷を誘発させます。
チ.温水ミストを常温水ミスト用のミストピュアで吸引させないでください。
　モーター損傷の恐れがあります。
リ.強酸、強アルカリミストの吸引には使用しないでください。
　強腐食による障害、モーター損傷の恐れがあります。
ヌ.フィルターの交換ができない（前蓋がはずせない）鋼管の配管はやめてください。
　使い捨てと同様の結果となり、耐用時間が極端に短くなります。
ル.ドレン配管はつまらないように管理してください。
　ドレン管がつまると、ミストピュア内にドレンが溜まりモーター過負荷現象を発生させモーター焼損や火災の恐れがあります。
オ.ミスト発生源を覆う密閉に近い大きなカバーを作り、発生源からできるだけ遠くの位置でミストを吸引させてください。
　ミスト発生源に近いところからのミスト吸引は、吸引力低下、誘発させる公算が大きいです。
ワ.ミストが微粒子の場合には排気口から白煙が出ます。
　白煙が出た場合マイクロンBOXか、スーパーマイクロンBOXを組み込んでください。
カ.マイクロンBOXも、スーパーマイクロンBOXも、白煙の100%除去を目的としているのではなく、装着しないよりも効果があり、より寿命の長いものを目標としていますから100%の期待はできません。
ヨ.ミストピュアでは『匂』、『臭気』はとれません。
タ.蒸発した気体もとれません。
レ.気化するのが早いミストもとれません。
ソ..ミストピュアが故障で停止すればミスト発生源で、ミスト濃度が増して、発火や、その他の危険性が大きくなる様な場合には、もう一つの系列の吸引装置を設けてください。
ツ.溶剤ミストには使用しないでください。
　溶剤はオイルシールやパッキンの機能を損傷し、損傷した部分からモーター内にミストが流入して、モータートラブルの恐れがあります。また火災の恐れもあります。
ネ.ミストピュアの保守点検には必ず手袋をはめて行ってください。
　ミストピュアの製造には細心の注意をしていますが、ミストピュア内部は専門の職の人以外は触らないでください。
ナ.ミストピュアは高速回転体です。

　回転が止まるまで手を触れないでください。回転中に手を触れますと、人命にかかわる事故の恐れもあります。
ラ.回転部分には手を触れないでください。
　モーター冷却ファンカバーにものを突っ込んだり、シロッコファンに手を触れたりしないでください。大怪我をします。

①.ミストピュアを設置されるまでにチェックしてください。

トラブルの中で一番ご注意いただきたいことは、ご使用いただく機種が異なることです。そのためにミストピュアを装着されるまでに、ミスト処理計画と購入された機種が合ってるか確認してください。

②.ミストピュアを稼働させるまでにチェックしてください。

ミストを吸引させる位置は適正ですか、飛沫や、放置すればすぐに落下するような、大粒径のミストを吸引するような位置にあれば、すぐにフィルターの目詰を発生させますから、吸引する方法を変えるか、もしくは条件に合ったミストピュアの使用法（システム）に変えて、ミストピュア本体に対する負荷の軽減を計ってください。
ミストピュアの機種は、小さ過ぎませんか、吸引容量が小さいと、どうしてもミストの発生源のそばにミスト吸引口を近づけ、放置すれば自然に落下する様なものまで吸引して、目詰を早期に発生させます。容量を大きくするか、ミスト発生源を覆うカバーを作り、遠くから、ゆっくりミストを吸引させて、ミストピュアの負荷を軽減してください。（振動を放置したり、振動を早期に解消しない様なことが、何度もありますとモーターの損傷や、ミストピュアにクラックが入ったりします。）ご注意ください。

3.『ミストピュア取扱不可事項』について

屋外の使用

Fシリーズの標準モーターは、屋内タイプです。
必ず屋内でご使用下さい（屋外仕様であれば可）。

強酸・強アルカリ

ミストピュアは、内部部品が鉄、アルミ、耐油ゴム、アクリルゴム等々で組立られています。そのために『水』、『酸』、『アルカリ』には弱く、錆びや溶解、劣化等々のトラブルが発生します。特に『酸』、『アルカリ』には錆び、劣化、溶解のトラブルの発生が顕著ですから使用しないでください。

ミストピュア取扱不可事項

- 屋外での使用
- 強酸・強アルカリ
- フィルター不取換
- 共振・共鳴する所
- 溶剤・炭化水素
- インチング
- 電動機保護電装品未装着
- 電動機使用条項違反
- 見えない所への設置
- 狭い所への設置
- 常温固化ミスト
- 上記項目以外の取扱説明書に「使用を注意」もしくは「トラブル発生の可能性あり」とある使用方法

取扱説明書にこの項目の解説があります。御覧下さい。

フィルター不取換

ミストピュアには2種類のフィルターが使われています。ご使用者が使用度に従って日常的に取換えていただくフィルターです。フィルター交換頻度は、使用度、ミストの種類、ミストの性質等々によって異なりますが適度に交換していただきませんと吸引量の低下により工場内へミストの放出となります。早めの交換を心がけて下さい。

共振・共鳴する所

ミストピュアはコンクリート床置で10ミクロン以下の振動値が（上部定位置）出荷基準となっています。しかし設置する状況により、振動がでたり、騒音が大きかったりすることがあります。
そのような状況の所には設置しないでください。薄い鉄板の上、薄い鉄板で囲われた所、幅よりも高さが大きい台、ミストピュアの幅よりも長いスパンの上、弱い梁や架台の上等々では振動や騒音の大きくなることがあります。振動や騒音が大きくなる場合には設置状況を変えるか、もしくは補強を行ってください。

溶剤・炭化水素

ミストピュアには耐油ゴム、アクリルゴムが使用されています。それらのものが溶剤や炭化水素煮よって本来の機能を消失もしくは劣化して発生するトラブルが考えられますので、使用しないでください。
また、溶剤や、炭化水素がモーターの呼気現象によりモーター内に侵入してモータートラブルを発生させることが予想されますので使用しないでください。
溶剤や炭化水素は濃度により、発火の危険生も高く、ミストピュアが何らかの事情により停止した場合に発火濃度となることも考えられますので使用しないでください。

インチング

ミストピュアは電源を切っても、20秒程度は回転をしています。そのために20秒程度のサイクルではミストピュアのスイッチの切、入を繰り返しても吸引を止めたり始めたりを瞬間的に行うことはできません。
また、電源をいれてミストピュアを始動したとき、大きな起動電流が流れてモーターコイルが発熱します。この発熱が冷却しない間に又次の起動電流がながれ、そのような状況が連続しますと、モーターコイルのワニスが劣化して絶縁が破壊されモータートラブルが発生します。そのため冷却が充分出ない短時間の入、切、入、切（インチング）をしないでください。

電動機保護電装品未装着

起動時には、定格電流以上の電流が流れます。三相誘導電動機の焼損事故のうち、欠相によるものが最も多く70%以上が欠相に起因すると報告されています。その欠相になる原因としては、『電源ヒューズの溶断』、『マグネットスイッチの接触不良』、『配線の断線、接触不良、スイッチ類の接触不良』、『配電変圧器の一時側不良』などが考えられますので、ミストピュアの配線工事時には必ず上記トラブルに対処できるモーターの保護電装品をセットしてください。
モーターの保護器は、事故の発生、事故発生時の進展を防止します。モーターの故障はミストピュアの停止を意味し、生産ラインの停止や、その他の障害に発展することになります。過負荷保護、拘束保護、短絡保護、不足電圧保護があり、電流検出方式や、温度検出方式などがありますから、ミストピュアの停止時の困惑度に応じ、保護器の方式を組合せて複数以上装着してください。組合せにつきましては、電気工事業者と打合せてください。

電動機使用条項違反

ミストピュアのモーターには、全閉外扇E種絶縁構成のものが標準として使用されています。
E種とは、−10度Cから+40度Cの環境温度（周囲温度）の範囲内で使用できます。
環境温度が規定以上になる場合には、B種、F種絶縁構成のものを使用してください。
環境温度が規定以下の場合には耐低温処理、相対湿度が80%以上では耐湿絶縁処理が必要です。その他、熱帯地域の様に気温や湿度の高い場合には耐熱帯絶縁処理、腐食性ガスのあるところでは耐薬品絶縁処理、研削液のかかるところは耐研削液処理等がありますので、使用される場所により適正な条件のものを使用してください。
ミストピュアを使用する環境によって、普通の環境、全天候の所、腐食性ガスや液のかかる所、爆発性ガスのある所、塵挨のある所と分類されます。E種は普通の環境の屋内仕様ですからそれ以外の所では使用できません。
ご使用者の使用される環境により、適正なものを選定しご使用ください。ミストピュアのモーターは、標準として200v／50hz、200v／60hz、220v／60hzが装着されています。ご使用される電圧、周波数は合致していますか、ご使用前に確認してください。電圧、周波数が違っていますとモーター焼損となります。
電動機使用条項が合致していないためのモーターの故障は有料です。ご注意下さい。

見えない所への設置

ミストピュアは『生き物』と同じように考えてください。目で見て、耳で聞いて、手で触って、その日の状況を見てください。振動が出ていませんか、騒音が出ていませんか、吸引が悪くなっていませんか、天井裏や、離れたところでは、状況がわからずにトラブルを未然に防止できません。

狭い所への設置

ミストピュアは、保守管理が必要です。なかでもフィルターの交換は、日常的に行われるべきものです。フィルターの交換には、ミストピュアの前蓋をお取り外しいただきますので、狭いところや作業足場のないような高い所への設置はしないでください。

常温固化ミスト

常温で固まるミストを吸引させますとフィルターに固着します。フィルターに固着したものは、フィルターの通気を阻害すると共に、振動も発生させます。
そのため常温で固まる重油、ヤシ油のミスト処理には使用しないでください。また、植物油、食用油の様に酸化し、固まるものにも、使わないでください。

上記項目以外の取扱説明書に「使用を注意」もしくは「トラブル発生の可能性あり」とある使用方法

①.ミストピュアのシロッコファンに付着した汚物を、一部分だけ取られますと振動が発生したり、振動によるトラブル（モーターベアリングの損傷等）が出ます。

イ.シロッコファンに附着した異物を清掃する場合は、シロッコファンを抜き取り完全にきれいにして下さい。
ロ.回転による振動は、上記0.1とか0.2グラムのつり合いが問題となります。

4. 設置にあたっての注意事項

①. 設置場所

標準（屋内）タイプ、洗浄機タイプ、屋外タイプ（受注生産）にて、それぞれタイプに応じた設置場所でのご使用をお願い致します。

②. メンテナンスできるスペース

ミストピュアの保守点検時には、ミストピュアの前蓋をはずしたり、部品の交換もありますので、高所への設置はやめてください。また、フィルターの交換には、ミストピュアのすぐ横に作業ができるメンテナンスできるスペースが必要ですから、配慮ください。

③. 機器上ではなく架台の上に設置してください

ミストピュアは水平に設置していただきますが、ミストピュア下部からドレンが排出されますので、300mmから500mmの架台の上に設置し、ドレンチューブの下にはドレン缶を設けてください。ドレン缶がドレンで一杯になりましたら、ドレン缶を交換できるように作業スペースも設けてください。

④. 見えるところへ設置してください

ミストピュアは、視覚や聴覚、接触で状態を、常に確認できる位置に設置してください。天井裏、別の場所、地下室などの作業者からミストピュアが見えないところでは、ミストピュアの状況が悪化するまで、判らないことがありますので、設置しないでください。

⑤. 共振、共鳴をするような所への、設置はしないでください

高い架台や、薄い板、弱い材料などのうえに設置されますと、共振や共鳴を起こすことがあります。共振、共鳴を起こす場合には、設置しないでください。

⑥. 高温、多湿の場所には、設置しないでください

ミストピュアは、特殊品や、ご指定品を除き、全閉外扇E種のモーターを装着していますので環境温度が、摂氏40度以下の所でしか使用できません。摂氏40度以上の環境で使用されますと、モータートラブルが発生しますので、使用しないでください。

⑦. 多量のミスト吸引時には排気口から、油滴や、水滴が飛ぶこともあります

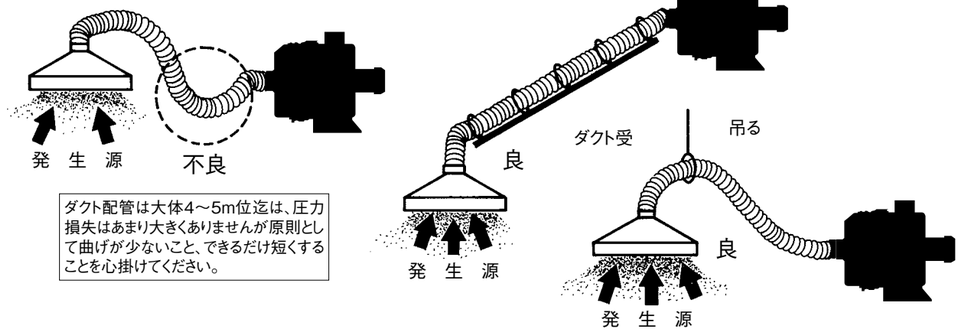
そのような場合には、ミストの吸引位置を油滴や、水滴が飛ばないところに変えるか、位置を変えても効果のない場合には、水滴飛散防止装置か、AT研架台を併設してください。

⑧. ミストの粒径が小さいものが多い場合には、排気口から白煙が出ることもあります

白煙の出る場合には、排気口にスーパーマイクロンBOXを挿入して使用していただきますので、排気口上部に余裕を取ってください。

⑨. ダクト配管は垂れ下がりのない様に設置してください

垂れ下がりがあると、オイルミストがたまり、その重量で段々垂れ下がりがひどくなり、やがてオイルダクトが塞がれて吸引力が低下します。



ダクト配管は大体4～5m位迄は、圧力損失はあまり大きくありませんが原則として曲げが少ないこと、できるだけ短くすることを心掛けてください。

5. 電気工事について

①. 電気工事

モーターの焼損事故のうち、欠相に因るものが最も多い、と言われています。ミストピュアの電気工事を行われる場合には、モーター保護のため、少なくとも一つか、二つの電装品の装着をしてください。
弊社では、押しボタン付交流電磁開閉器（三菱製）を電気工事用オプションとして推奨いたしております。
ご利用ください。

②. 推奨する電磁開閉器

モーター保護のため出来ましたら、もう一系列の保護装置を、装着ください。

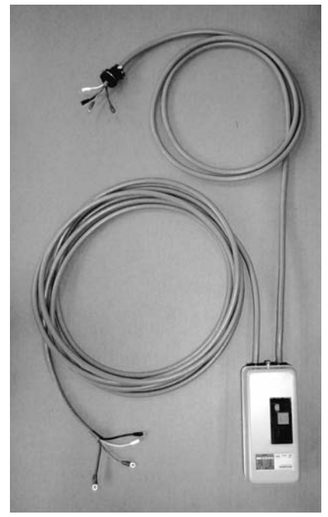
ご使用機種のモーター容量をお確かめ下さい ⇒

モーター容量	電　圧	定格電流（50/60/60Hz）	押しボタン付電磁開閉器
0.75kw	200/220v	3.3/3.0/3.0 Amp	MS-N10PM(4.4Amp)
1.5kw	200/220v	6.2/5.9/5.5 Amp	MS-N10PM(8.0Amp)
2.2kw	200/220v	8.7/8.3/7.8 Amp	MS-N10PM(11.0Amp)

ご使用者で電磁開閉器を購入される場合、上記相当品のなかには、モーターが最高回転に達するまでに、短絡するものもあります。短絡するものは別のものと取り替えてください。

③. 電線は、付属しておりません

ミストピュアは、多くの場所で使用していただいています。
それらの場所の電気規格（配線）が異なるために、ミストピュアのモーターのターミナルBOXから以降は、電線や電装品は、ついておりません。
配線図はモーターのターミナルBOXの蓋に貼付してあります。お客さまの手数を省く目的で、押ボタン付電磁開閉器と、キャップタイヤコード（7m）をセットにして、電気工事用オプションとしてご用意いたしております。ご利用ください。



6. ご使用方法

①. 運転前の点検

配線は間違っていませんか、間違っているとモーター事故が発生します。注意してください。
電気配線や結合部は完全に覆われていますか。むき出しの部分がありますと感電事故が発生しますので注意してください。
モーターの回転方向は合っていますか（モーター後部からみて時計回り）。逆回転の場合にはシロッコファンが抜け落ちて大事故となります。注意してください。
各部の締付ボルトは確実になされていますか。締付が不確実、または、締付をしていない場合にはミストピュアが落下したり、事故が発生しますから確実に締付てください。
ミスト発生源を覆う方法が不適正ですと、ミストを上手に吸引しません。ミストピュアは、一秒間に60回転します。十分に安全を確かめてから、試運転を実施してください。前蓋を開けたまま始動したりしますと人命にかかわる事故の恐れもあります。

②. 運転中の確認

運転中には次のような症状がないかご確認ください。

症状	原　　因	対　　処
振動が大きい	回転中のバランス狂い	シロッコファンを完全清掃する
	モーターベアリング破損	モータベアリングを交換する
	ベアリングBOX摩耗	モータベアリングBOXを交換する
	ミストピュア架台弱い	架台の補強、又は改作
	他のものとの共鳴	調査する
騒音が大きい	回転中のバランス狂い	シロッコファンを完全清掃する
	モーターベアリング損耗	モータベアリングを交換する
	ベアリングBOX損耗	モータベアリングBOXを交換する
	ミストピュア架台弱い	架台の補強、又は改作
	架台が共鳴している	架台の改作
吸引力が弱い	目詰まりしている	プレフィルターの交換
		メインフィルターの交換
	フードが不完全である	フードの改造
	横風がある	フードの改造、又は処理風量大
	扇風機の風でミスト飛散	フードの改造
	窓からの風でミスト飛散	フードの改造、又は窓を閉める
	機器の回転風でミスト飛散	吸引方法の改良
	他の機器のモータの風あり	吸引方法の改良、又は風のカット
	ベルトによるミスト拡散	ベルトを囲う（ミストとの分離）
	エアー吹きによるミスト拡散	突出風の方向転換、又は吸引改良
	「ベルトカバーをつける」「エアー吹きの角度を変える」など、吸引力だけで解決しない方策が最良です	
モータが回らない	モーターが焼損している	ヒューズが切れている
		配線不良、ターミナルのゆるみ
		スイッチ不良
		タコ足配線の改正
		配電函のヒューズが小さすぎる
		過電流継電器（サーマル）をつける
	絶縁不良である	ミストピュア種別不適合（洗浄機）

7. フィルターについて

①. 2種類のフィルター

ミストピュアには、2種類のフィルターが装着されています。
イ.　プレフィルター
ロ.　メインフィルター

②. フィルターの交換時期

交換時期の目安の1つとして風量低下があげられます。風量確認用として防塵カバー機能を備えた、排気筒蓋を標準装備致しました。
お客様の設置状況により異なりますが、導入からご使用時の開き具合（開き角度の減少等）を目安に交換時期を決定してください。
プレフィルターを交換しても風量が回復しない場合はメインフィルターも交換してください。

③. フィルターの交換頻度

ミストピュアで処理されるミストの状況によって、フィルターの交換頻度は異なります。
ミストの状況とは、
○吸入するミストに含有される異物（粉塵）の量は、どれくらいか
○研削加工なのか、切削加工なのか、焼入れ作業なのか、防錆油噴霧ミストなのか等
○ミスト発生源に対してどの位置から、ミストを吸引させているか（大粒径か微小径か）
○食用油なのか、鉱物油なのか、油ではないのかなど
○常温では固まるのか、固まらないのか
等、ミストの性質、作業の種類、ミストの吸引位置、ミスト発生源を囲うカバーの仕様等々を含む幅の広い内容を含んでいますから、ご使用環境に合わせてフィルター交換頻度（交換周期）を決定してください。

⚠注 意

確認作業時にはミストピュアの電源を切り、回転が完全に停止してから行って下さい。
ミストピュアが完全に停止するまでには約20秒かかりますが停止を待てないでモーター冷却ファンカバーからドライバーを突っ込んで止めようとしますと怪我をします。たいへん危険ですからしないでください。また前蓋を開けてシロッコファンに制動をかけようとして前蓋を開けますと、高速回転するシロッコファンに前蓋が触れ前蓋が飛ばされて大怪我をしたり、高速のシロッコファンに付近のものが吸い込まれて跳ね飛ばされ大変危険ですし、手が吸い込まれたり、作業ズボンが高速のシロッコファンに巻き込まれて、大事故となりますので、ミストピュアが完全に停止するまでに前蓋を開けないでください。

8. フィルターの交換

①.プレフィルターの交換

▼

ミストピュアの運転を停止してください
前蓋についているプレフィルターカバーのパッチン錠2個を外す。

汚損したフィルター(2枚／台)を取り出した後
新品フィルター(2枚／台)を挿入しパッチン錠にて固定する。

プレフィルター

②.メインフィルターの交換

▼

ミストピュアの運転を停止し、モーター後方より、回転が完全に止まったことを確認してください。
前蓋のパッチン錠8個を外し、汚損したフィルターを取り出した後、
新品フィルターを装着しパッチン錠にて前蓋を固定する

メインフィルター

③.フィルター交換後はプレフィルターカバーまたは、前蓋を元通りに取付けし、運転に異常がないか確認して下さい。

9. シロッコファン、ドラムAssy、モーターの交換

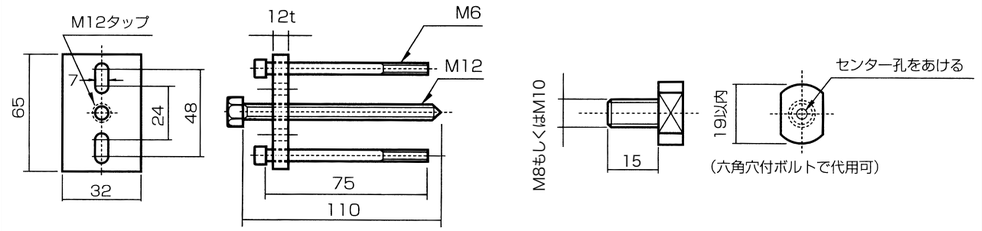
ミストピュアを長期間ご使用頂くために、適切な時期にメンテナンス（オーバーホール）されることをお勧めいたします。オーバーホールは原則、弊社の技術者が行うことにしておりますが、参考として「シロッコファン、ドラムAssy、モーターの交換手順」を掲載いたします。

シロッコファン、ドラムAssy、モーターの交換

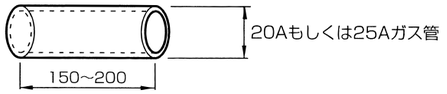
①.シロッコファンの取り外しに必要な道具（抜き工具）

シロッコファンはモーター軸から錆びて抜き取り難い場合が多く、抜き工具が必要です。
シロッコファンには、抜き工具の為に、M6 ネジ穴を 2 個設けてあります。抜き工具はご使用者にてご用意いただけるように、寸法図を記載いたしますので、ご入用の前に準備してください。（弊社にも有料で用意してあります。）
モーターは特に専用の工具は必要ありませんが、市販の BOX スパナがいります。

●抜き工具

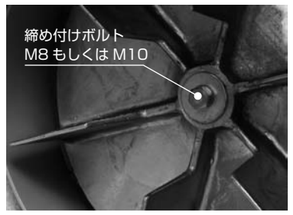


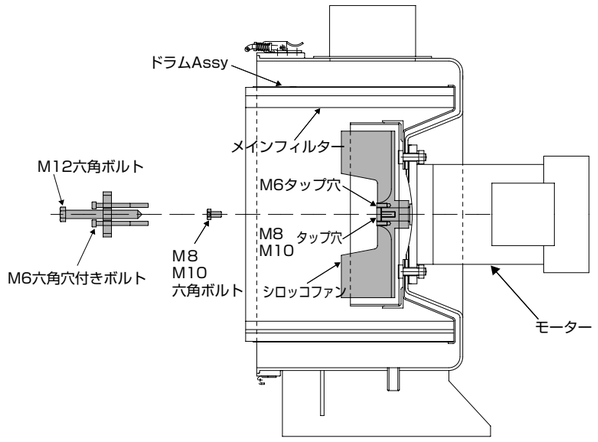
●締め工具



②.シロッコファンの取り外し

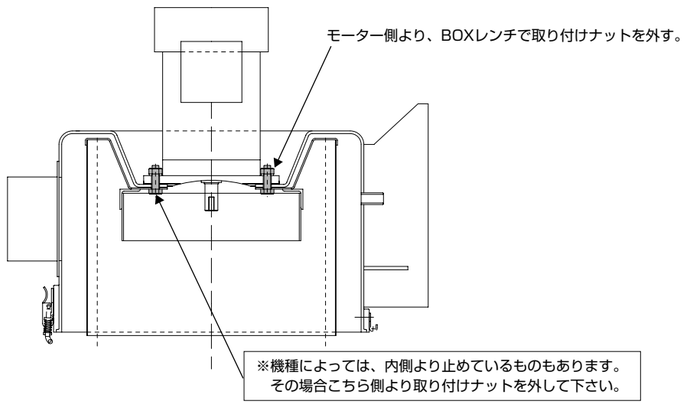
まず前蓋パッチン錠をはずし、次に前蓋をとりますと、シロッコファンが見えます。
シロッコファンの中心部に六角ボルトの頭が見えます。このシロッコファン押さえのボルトを抜き取ります。
シロッコファンを両手で持ち手前に抜き出すようにします。それで抜けない様であれば、シロッコファン軸穴のそばに M6 のネジ穴が 2 個ありますのでその穴に抜き工具の M6 ボルト 2 本をネジ込みます。（この際 M6 ボルトをしっかりとネジ込んでおかないと、ネジ穴が壊れることがありますから注意してください。ボルトがねじ底にあたり少し固くなったらそれ以上ネジ込まないでください。ボルトをねじ切ってしまいますと弊社に送り有料で修理をしてください。）
M6ボルト2本がネジ穴にねじ込めましたならば、シロッコファンを回らないように固定しながら抜き工具の M12 ボルトをスパナなどで右に回してみてください。シロッコファンが少しずつ抜けてきますが抜ける様子がないときには、シロッコファン軸穴に注油をしてもう一度試して見てください。もし抜けないときは、弊社に送り修理をしてください。（有料）
無理をして抜こうとすると抜き工具の破損や、シロッコファンの破損となります。ご注意ください。





③.ドラムAssy、モーターの取り外し

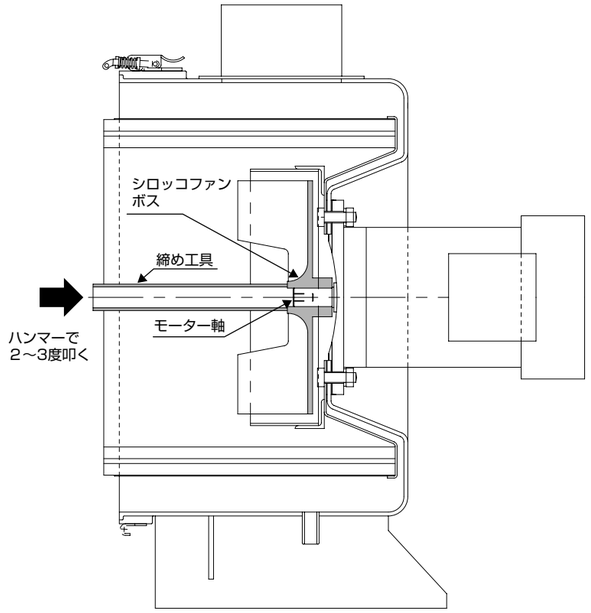
シロッコファンを取り外します。そしてモーターとミストピュア本体を締結しているモーター側のナットをとればモーターは取り外せます。（ドラム Assy も外れます）
機種によっては、内側より止めているのもあります。この場合はミストピュア内よりナットを外して下さい。

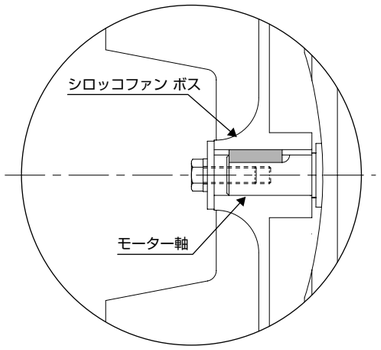


④.シロッコファンの再組立時の注意事項

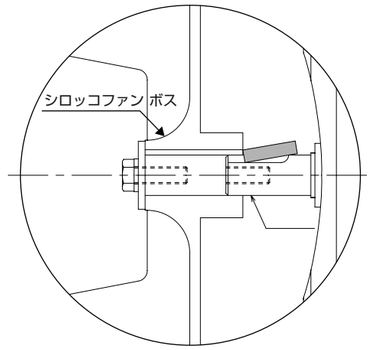
イ . シロッコファンの軸穴にゴミがないようにきれいに清掃し、塗油してください。
ロ . モーター軸を清掃し、モーター軸に清掃したキーをいれてください。そして塗油してください。
ハ . シロッコファンのキー溝をキーにあわせてモーター軸の段付部迄押し込んでください。
ニ . 段付部迄入ったのを締め工具で軽くたたいて、確認してください。
固くて入りにくい場合には、もう一度キーをいれ直したり、異物がないように再度清掃したりして、無理なく定位置まで入るようにしてください。締め工具で無理に叩き込みますと、次回の分解ができなかったり、定位置迄入らず再稼働時に事故の発生となったりしますので注意してください。

ホ . シロッコファンが、定位置に入りましたら、モーター軸端のネジ穴に、座金とボルトをいれて締付けてください。





○ 正しいキーの配置



× キーの位置が悪い場合

これでシロッコファンの組立は終了ですが、ミストピュアは 1 秒間に約 60 回転する高速回転体です。不完全な組み立ては不慮の事故を招きますので、慎重を期してください。
自信がない場合には、再度慎重にやり直してください。